

2025年度第2回学校関係者評価委員会 議事録

【開催概要】

(1) 日 時： 2026年3月23日（月） 13時00分～14時00分

(2) 場 所： YIC校舎2階応接室1

(3) 出席者：

外部委員

議 長（職能団体）：阿部 誉久 様

委 員（企業関係者）：突貫 光正 様

委 員（高校関係者）：蔵増 聡 様

委 員（卒業生代表）：永松 三治 様

委 員（保護者代表）：土井 知子 様

本校教職員

校 長：河津 道正

副校長：小田 政江

事務長：日當 泰浩

事務長補佐：三船 龍

教務課係長：橋口 浩太

1. 報告・協議事項

(1) 学校評価基準の改定について

2025年9月の改定により、評価基準が従来の4段階から**3段階評価**へ変更されたことが報告された。

- **評価3**: 基準を上回り、特筆すべき取り組みを行っている。

- **評価2:** 概ね基準を満たしている。
- **評価1:** 基準を満たしておらず、改善が必要である。

(2) 教育理念・目標および教育課程（項目1・2）

- **成果:** 2025年度は、総合学科および公務員総合学科の1年生**全員が公的機関でのインターンシップを実施**できた。また、公務員試験対策だけでなく、Word、Excel、簿記などの**ビジネススキル修得**にも注力した。
- **課題:** インターンシップや演習の評価が主観的になりやすい点が指摘された。
- **対応:** 誰が評価しても公平な判断ができるよう、現在**ループリック（評価指標）**の作成を進めている。

(3) 学生の受け入れと支援（項目3）

- **学生募集:** 2026年度は**定員充足率100%を達成する見込み**である。
- **バリアフリー対応:** 現在の施設（ゼスト小郡ビル）では車椅子利用者の受け入れが困難だったため、現状を厳格に捉え**評価を「1（改善が必要）」**へ下方修正した。
- **今後の改善:** 2026年度よりバリアフリー化された環境（エレベーター、多目的トイレ完備）へ移行し、体制を整える予定である。
- **学生支援:** クラス担任と「総合支援室（カウンセラー）」が連携し、メンタルヘルスや生活面のサポートを行っている。

(4) 教育実施組織および教員の資質向上（項目4）

- **成果:** 法人全体で夏季・冬季に**10講座以上の独自研修**を実施しており、非常勤講師も参加してスキルアップを図っている。この実績を評価し、教員の資質向上に関する評価を「3（特筆すべき取り組み）」へ引き上げた。
- **課題:** 自治体との連携ガイダンスにおいて、採用情報だけでなく「業務の本質」をより深く伝えるための事前調整を強化する必要がある。

(5) 教育環境と防災救命体制（項目5）

- **施設整備:** 学生ホールや自習室の整備状況が報告された。図書室については、専門書の更新や**サブスクリプション（電子書籍）導入**による利便性向上が検討されている。
- **防災救命:** 2026年3月18日に救命講習Ⅰを実施し、教職員の7割以上が受講、さらに上級救命講習受講者を1名以上配置したことで、山口市消防より「**救急ステーション**」の認定を受けた。
- **評価の修正:** この救命体制の整備は特筆すべき成果として、評価を「3（特筆すべき取り組み）」へ引き上げた。
- **BCP（事業継続計画）:** 過去の豪雨による交通遮断の経験を踏まえ、災害時でも教育を継続できる**BCPの策定と行政認定**を目指して準備中である。

(6) 地域連携と情報公開（項目6）

- **地域活動:** 会場に商業施設等を利用した「出張オープンキャンパス」を開催し、地域住民や高校生への理解促進を図っている（山陽小野田市、周南市）。
- **新規計画:** 2026年6月に、全22団体が集結する大規模な「公務員合同説明会」の開催を予定している。

2. 今後の展望と連絡事項

- **制度改正:** 2026年4月の法改正に伴い、専門学校教育は時間制から**完全単位制**へ移行する。
- **外部評価への備え:** 今後5年以内に義務化される「第三者評価」を見据え、自己点検評価の質をさらに向上させていく方針である。

3. 今後の予定

- 第1回委員会（次年度）：2026年10月中旬
- 第2回委員会（次年度）：2027年3月中旬